

社会福祉法人愛光園 ホームほのか (共同生活援助)
 社会福祉法人愛光園 ホームひだまり (共同生活援助)
 令和7年度 地域連携推進会議 議事録 (要約)

開催日時	令和7年12月16日(火) 10:30~12:00
開催場所	社会福祉法人愛光園 アイコート
参加者	ほのか入居者代表 1名 ひだまり入居者代表 1名 ほのか入居者家族代表 1名 ひだまり入居者家族代表 1名 地域住民代表 1名 足利市役所障がい福祉課 1名 事業所職員 4名 (管理者, 副管理者, ほのかサービス管理責任者, ひだまりサービス管理責任者)
会議内容	
地域連携推進 会議について	資料を基に地域連携推進会議の目的や経緯等を説明した。 【意見や質問として】 ・市町村担当者: 良い機会なので、施設や生活の場を実際に見ていただき、何かあれば積極的に質問してもらえればと思う。
法人概要	社会福祉法人愛光園の沿革、新しい法人理念と理念浸透への取り組み、多様なサービスで利用者の生活を支える体制を説明した。
施設見学	共同生活援助の説明、入所状況等の各棟特色の説明、職員配置の説明、設備等の説明、居室見学、入居者への声掛けを行った。 【意見や質問として】 ・地域住民代表: 入居者に住み心地を確認した。 →日当たりも良く住みやすい部屋だとの返答あり。 ・ひだまり入居者家族代表: なぜ1棟10名なのか。 →障がい者グループホームは、施設ではなく地域の中で家庭的な生活を送ることを目的とした住まいである。そのため、一人ひとりに目が届く支援ができるよう、国の制度で定員は原則10人までと定められていることを説明した。 ・ひだまり入居者家族代表: 一人で生活するには十分な居室の広さ、設備も整っており、自分が住みたいとの意見あり。
共同生活援助 について	障がい福祉サービス、各居住系サービス(施設入所支援, 共同生活援助, 短期入所)の特色、共同生活援助の類型と利用メリットを説明した。
事業所説明	事業実施状況報告書を用いて、各事業所の職員配置、入居者の支援区分、年代・障害種別等について説明した。また、各事業所での支援や行事、地域との交流について、写真や広報誌なども用いて説明した。 【意見や質問として】 ・地域住民代表: 実際に交流している場の写真を持参してくださり、各構成員に見ていただく。コロナ感染で自粛している地域のカラオケ大会についても、再開の際には参加してほしいとの声掛けをいただく。

<p>参加者の皆様からの意見・質問</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民代表：町内との親睦を深める意味合いとして、今後もオープンに何でも参加してください。 ・ひだまり入居者家族代表：地域活動に参加している写真を見せていただき、町内の方々と入居者と職員と一緒に活動していることを知り、とても感謝しています。 ・ほのか入居者家族代表：いろいろとやっていただき、感謝しております。地域の行事などに参加させていただいているようで、本当にありがとうございます。職員の方々のご苦勞もあるかとは思いますが、どうぞよろしく願いいたします。 ・ほのか入居者代表：お祭りとかやりたいです。前にキッチンカーとか屋台とかが来たので。 →食べることが楽しみとのことなので、それに向けた行事やレクを検討する。 ・ひだまり入居者代表：みんなに良くしてもらって、何にも言うことはありません。 ・市町村担当者：自然に地域に溶け込んでいるところが良いなと思いました。先程話のあったお祭りなど、地域のお祭りなどがあれば入居者も一緒に参加する、地域にお祭りがなければ施設が開催して地域と一緒に参加する。そのような機会が持てれば、更に地域に開かれ、相談しやすい施設になると思います。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者：居住サービスは、閉鎖的になりやすい部分があると思います。入居者の生活バランスも考慮しながら、できるだけ開けたな事業展開をしていければと思います。地域の皆様には本当にご理解をさせていただき、徒歩で通所される入居者にも挨拶など声掛けをしていただいで本当にありがとうございます。今後も地域とのかかわりを深めていければと思いますので、よろしく願いいたします。 ・地域住民代表：地域からは、施設や入居者の悪い話は一つも聞こえてこない。入居者の方も、みんな良い方ばかりと思っています。